

各種一覧

■分子科学フォーラム

回	開催日時	講演題目	講演者
第103回	平成26年11月21日	分子とつくる未来	山本 浩史 (分子科学研究所 教授) 飯野 亮太 (分子科学研究所／ 岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授)
第104回	平成27年3月18日	総力と本気で地震を克服する	福和 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター長・ 教授)

■分子研コロキウム

回	開催日時	講演題目	講演者
第862回	平成26年9月26日	有機発光材料の新展開－高効率遅延蛍光材料の登場－ Development of novel organic light emitting materials-high efficiency delayed fluorescence-	安達千波矢 教授 (九州大学大学院工学府応用化学 部門 教授 最先端有機光エレクトロニクス研究セ ンター センター長)
第863回	平成26年9月30日	Electronic structure in highly excited optical lattices	Prof. Dieter Jaksch (Clarendon Laboratory, Oxford Univ.)
第864回	平成26年11月17日	Single Molecule Spectroscopy using STM	川合眞紀 教授 (東京大学大学院新領域創成科学研 究科・教授、理化学研究所・理事)
第865回	平成27年10月16日	エレクトライドの物質科学と応用展開	細野 秀雄 教授 (東京工業大学 フロンティア研究 機構&応用セラミックス研究所)

■人事異動 (平成26年6月2日～平成26年11月1日)

異動年月日	氏 名	区 分	異 動 後 の 所 属 ・ 職 名	現 (旧) の 所 属 ・ 職 名	備 考
26. 6. 9	KOOMBIL KUMMAYA, Praneeth V.	採 用	生命・錯体分子科学研究領域錯体物 性研究部門 研究員		
26. 6.10	YANG, Tao	採 用	理論・計算分子科学研究領域計算分 子科学研究部門 研究員		
26. 6.16	郡 司 康 弘	採 用	極端紫外光研究施設光源加速器開発 研究部門 技術支援員		
26. 6.16	長 尾 春 代	採 用	技術課 (機器利用班) 技術支援員		
26. 6.24	DANG, Jingshuang	採 用	理論・計算分子科学研究領域計算分 子科学研究部門 研究員		
26. 6.30	CHEN, Xiong	退 職		物質分子科学研究領域分子機能研究 部門 研究員	
26. 7. 1	内 山 功 一	配置換	技術課学術支援班 学術支援二係 主任	技術課電子機器開発技術班 電子機 器開発技術係 主任	
26. 7. 1	中 野 路 子	配置換	技術課機器開発技術班 機器開発技 術二係 係員	技術課機器利用技術班 機器利用技 術二係 係員	
26. 7. 1	ZHENG, Lihe	採 用	分子制御レーザー開発研究センター 先端レーザー開発研究部門 研究員		
26. 7. 1	石 井 健太郎	採 用	岡崎統合バイオサイエンスセンター 生命動秩序形成研究領域 研究員		
26. 7.15	ZHANG, Ying	辞 職		岡崎統合バイオサイエンスセンター生 命動秩序形成研究領域 特任研究員	
26. 7.31	和 田 照 美	辞 職		技術課 (装置開発室) 技術支援員	
26. 7.31	岡 本 泰 典	退 職	バーゼル大学 博士研究員	岡崎統合バイオサイエンスセンター バイオセンシング研究領域 研究員	
26. 8.31	大 島 康 裕	辞 職	東京工業大学大学院理工学研究科 教授	光分子科学研究領域光分子科学第一 研究部門 教授	
26. 8.31	大 島 康 裕	併 任 終了	(光分子科学研究領域光分子科学第 一研究部門 教授)	機器センター長	
26. 9. 1	横 山 利 彦	併 任	機器センター長	(物質分子科学研究領域電子構造研 究部門 教授)	
26. 9. 1	大 島 康 裕	兼 任 嘱	光分子科学研究領域光分子科学第一 研究部門 教授 (兼任)	(東京工業大学大学院理工学研究科 教授)	
26. 9.30	櫻 井 英 博	兼 任 終了	(大阪大学大学院工学研究科 教授)	協奏分子システム研究センター機能分 子システム創成研究部門教授 (兼任)	
26. 9.30	藤 原 邦 代	辞 職		生命・錯体分子科学研究領域生体分 子情報研究部門 技術支援員	

異動年月日	氏 名	区 分	異 動 後 の 所 属 ・ 職 名	現 (旧) の 所 属 ・ 職 名	備 考
26. 9.30	DANG,, Jingshuang	退 職		理論・計算分子科学研究領域計算分子科学研究部門 研究員	
26.10. 1	内 山 功 一	昇 任	技術課学術支援班 学術支援二係長	技術課学術支援班 学術支援二係主任	
26.10. 1	BUSSOLOTTI, Fabio	採 用	光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門 特任研究員	千葉大学 ポスドク	
26.10. 1	RUIZ BARRAGAN, Sergio	採 用	理論・計算分子科学研究領域（日本原子力研究開発機構システム計算科学センター勤務） 特任研究員	大学院生	
26.10. 1	後 藤 振一郎	採 用	協奏分子システム研究センター階層分子システム解析研究部門 技術支援員		
26.10. 1	SHENG, Li	採 用	岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 研究員		
26.11. 1	住 田 明日香	採 用	生命・錯体分子科学研究領域生体分子情報研究部門 技術支援員		
26.10.31	南 野 智	辞 職	技術課 技術支援員	技術課学術支援班 学術支援一係係員	
26.11. 1	南 野 智	採 用	技術課 技術支援員		

編集後記

今号の記事を眺めながら、広報活動の大切さについて思い直しています。

独自性や完成度の高い研究（者）には、研究者コミュニティやメディアを通じて自然と注目が集まります。最近、研究活動を継続・拡充するためにも、研究者自らプレス発表や記者会見を行い、世間に向けて情報発信する必要があります。

STAP細胞に関する会見映像はまだ記憶に新しいところですが、「広く世に知らしめる」という行為そのものが諸刃の剣であることを示しています。新規性をアピールしつつも、研究者がごく普通に持ち合わせている倫理観をもとに適切な節度をもって情報発信することが大切だと思います。

大島教授の転出にともない後任の広報担当となりましたが、なかなか一筋縄では参りません。自然科学研究機構として「研究力強化に関する基本方針」が定められ、広報活動についても、機構と各基盤機関の協力体制や立場の違いについて、日々、議論が繰り返されています。今号もそうですが、分子研レターズには研究者間の信頼に基づいた研究や論評など高品質の記事が多く見受けられますので、この資産をうまく活用した広報活動を分子研の一つの特徴としていければと思っています。

編集担当 秋山修志

分子研レターズ編集委員会よりお願い

■ご意見・ご感想

本誌についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、投稿記事も歓迎します。下記編集委員会あるいは各編集委員あてにお送りください。

■住所変更・送付希望・送付停止を希望される方

ご希望の内容について下記編集委員会あてにお知らせ下さい。

分子研レターズ編集委員会
FAX : 0564-55-7262
E-mail : letters@ims.ac.jp
<https://www.ims.ac.jp/>

I M S Letters 71 分子研レターズ

発行日 平成27年3月（年2回発行）

発行 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
分子科学研究所
分子研レターズ編集委員会
〒444-8585

愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

編集 小 杉 信 博（委員長）
秋 山 修 志（編集担当）
大 迫 隆 男
加 藤 晃 一
齊 藤 真 司
繁 政 英 治
江 東 林
西 村 勝 之
平 等 拓 範
古 谷 祐 詞
柳 井 毅
山 本 浩 史
原 田 美 幸（以下広報室）
鈴 木 さとみ
中 村 理 枝

デザイン 原 田 美 幸

印刷 株式会社コムラ

本誌記載記事の無断転載を禁じます